

# **[SigmaSystemCenter 3.4] SigmaSystemCenterのインストール、アップグレード、およびアンインストールに関する注意事項、トラブルシューティング**

SigmaSystemCenter 3.4のインストール時、およびアップグレード時の注意事項や、SigmaSystemCenter 3.4のインストール、アップグレードインストール中に問題が起こった際の対処方法について説明します。

以下の項目について、説明します。

- SigmaSystemCenterをアップグレードインストールする際の、SystemProvisioningのレジストリに関する注意事項

また、【参考情報】に記載されていますインストールガイドの「5. トラブルシューティング」の説明も参照してください。

## **1. SigmaSystemCenterをアップグレードインストールする際の、SystemProvisioningのレジストリに関する注意事項**

### **1.1. SigmaSystemCenterをアップグレードインストールすると、SystemProvisioningのレジストリが削除される**

[バージョン]

SSC3.4

[注意事項]

SigmaSystemCenter をアップグレードすると、SystemProvisioningが使用する以下のレジストリのデータが削除されます。

そのため、アップグレードする前に設定していたデータを、アップグレード後に再設定する必要があります。

本注意事項の対象となるのは、アップグレード前に、以下のレジストリのデータを手動で追加していた場合のみです。

レジストリを追加していない場合は問題は発生しないため、対処は不要です。

- キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\HyperV (\*)
  - 名前: EnableVMOffEvent
  - 名前: FreeSpaceThreshold
  - 名前: DiskUsageThreshold
  - 名前: DisableDiskUsageMonitor
  - 名前: MigrateTimeout
- キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\DPMPProvider (\*)
  - 名前: DelimiterWwn
- キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)

- 名前: EnableIPSetting
- 名前: SysprepWaitCount
- 名前: CreateReplicaTimeout
- 名前: BeforeForcePowerOffTimeout
- 名前: DisableVMServerTimeout
- 名前: EnableCheckPowerStatus
- 名前: EnableDefaultVmPortgroup
- 名前: IgnoreIpWaitTimeout
- 名前: IpSettingGuestWatchTimeout
- 名前: SysprepWaitDHCPTimeout
- 名前: SysprepWaitFixedIPTimeout
- 名前: VmPowerOffTimeout
- 名前: VmShutdownTimeout
- 名前: WaitAfterReboot
- 名前: WaitBeforePowerOnTask
- 名前: WaitForRetryPowerOn

(\*) 32bit OSの場合は"\Wow6432Node"の部分を除外してください。

#### [対処方法]

レジストリエディタを起動し、アップグレードする前に設定していたデータを再設定してください。

手順は以下の通りです。

#### ● クラスタ環境でない場合

##### 1. レジストリデータの再設定

レジストリエディタを起動し、アップグレードする前に設定していたデータを再設定してください。

1. [スタート] メニューから [コントロールパネル(C)] - [管理ツール] - [サービス] で「サービス」画面を表示し、以下のサービスを停止します。

PVMService

2. レジストリエディタを起動し、レジストリを追加します。

例えば、アップグレードする前に、以下のレジストリにデータを設定していた場合、名前「EnableVMOffEvent」を追加し、データ「1」を設定します。

```
キー : HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\HyperV (*)
名前 : EnableVMOffEvent
データ : 1
```

(\*) 32bit OSの場合は"%Wow6432Node"の部分を除外してください。

3. [スタート] メニューから [コントロールパネル(C)] - [管理ツール] - [サービス] で「サービス」画面を表示し、以下のサービスを開始します。

PVMService

#### ● クラスタ環境の場合

「現用系サーバ」で本手順を実施下さい。

##### 1. 監視対象サービスの監視の停止

レジストリの変更を実施する前に、CLUSTERPROで監視対象サービスの監視の停止を実施してください。

1. [スタート] メニューから [すべてのプログラム(P)] - [CLUSTERPRO Server] - [タスクマネージャ] を開きます。
2. 「アプリケーション/ サービス名」で表示されている、PVMServiceの監視を停止します。停止するサー

ビスを以下の方法で"非監視" に設定してください。

(サービスを"非監視" に設定する方法)

- 表示されているサービス名を右クリックします。
- [監視停止] を選択し、「実行確認」画面で[OK] をクリックして監視を停止します。
- このとき、監視対象サービスの[監視状態] が"非監視" に変わることを確認してください。

3. 停止するサービスが"非監視" に設定されたことを確認し、タスクマネージャを終了します。

## 2. レジストリデータの再設定

レジストリエディタを起動し、アップグレードする前に設定していたデータを再設定してください。

1. [スタート] メニューから [コントロールパネル(C)] - [管理ツール] - [サービス] で「サービス」画面を表示し、以下のサービスを停止します。

PVMService

2. レジストリエディタを起動し、レジストリを追加します。

例えば、アップグレードする前に、以下のレジストリにデータを設定していた場合、名前「EnableVMOffEvent」を追加し、データ「1」を設定します。

```
キー：HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\HyperV (*)
名前：EnableVMOffEvent
データ：1
```

(\*) 32bit OSの場合は"%Wow6432Node"の部分を除外してください。

3. [スタート] メニューから [コントロールパネル(C)] - [管理ツール] - [サービス] で「サービス」画面を表示し、以下のサービスを開始します。

PVMService

## 3. 監視対象サービスの監視の再開

レジストリの変更が完了した後に、CLUSTERPROで監視対象サービスの監視の再開を実施してください。

1. [スタート] メニューから[すべてのプログラム(P)] - [CLUSTERPRO Server] - [タスクマネージャ] を開きます。

2. 「アプリケーション/ サービス名」で表示されている、PVMServiceの監視を開始します。開始するサービスを以下の方法で"監視中" に設定してください。

(サービスを"監視中" に設定する方法)

- 表示されているサービス名を右クリックします。
- [監視再開] を選択し、「実行確認」画面で[OK] をクリックして監視を開始します。
- このとき、監視対象サービスの[監視状態] が"監視中" に変わることを確認してください。

3. 開始するサービスが"監視中" に設定されたことを確認し、タスクマネージャを終了します。

## [各レジストリの説明、影響範囲]

各レジストリデータの説明、およびSigmaSystemCenterのアップグレード後にレジストリデータが削除されることによる影響範囲は以下の通りです。

- キー：HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\HyperV (\*)

名前：EnableVMOffEvent

<説明>

クラスタ環境にVMオフを検出するイベントが有効か、無効かを指定します。

無効の場合、クラスタ環境のVMオフが発生したとき、ユーザに通報しません。

0：イベントを無効にします(既定値)。

1：イベントを有効にします。

<影響範囲>

上記のレジストリに「有効」(1)が設定されていた場合、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、既定値(0)で実行され、クラスタ環境のVMオフが発生したとき、ユーザに通報されなくなります。

- キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\HyperV (\*)  
 名前: FreeSpaceThreshold  
 <説明>  
 ディスク空き容量と比較して、閾値を超した場合に、ディスク空き容量不足の通報を行います。  
 ディスク容量の空き領域の閾値をレジストリにより変更できます。  
 2048: 既定値  
 2048以外の値: 閾値(単位:MB)を指定します。  
 <影響範囲>  
 上記のレジストリに既定値(2048)以外の値が設定されていた場合、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、閾値に既定値(2048)が使用され、予期しない動きとなります。
- キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\HyperV (\*)  
 名前: DiskUsageThreshold  
 <説明>  
 ディスク使用率と比較して、閾値を超した場合に、ディスク使用率超過の通報を行います。  
 ディスク使用率の閾値をレジストリにより変更できます。  
 75: 既定値  
 75以外の値: 使用率(パーセント)を指定します。  
 <影響範囲>  
 上記のレジストリに既定値(75)以外の値が設定されていた場合、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、閾値に既定値(75)が使用され、予期しない動きとなります。
- キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\HyperV (\*)  
 名前: DisableDiskUsageMonitor  
 <説明>  
 クラスタディスクに関して、容量や状態やリソースなどを変更した場合、監視有効の設定より通報を行えます。  
 Hyper-V クラスタ管理対象について、ディスク容量を監視するかどうかを変更できます。  
 0: 監視有効(既定値)  
 1: 監視無効  
 <影響範囲>  
 上記のレジストリに1が設定されていた場合、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、0(既定値)で実行され、監視有効の設定より通報が行われるようになります。
- キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\HyperV (\*)  
 名前: MigrateTimeout  
 <説明>  
 仮想マシン移動操作のタイムアウトを、以下のレジストリ値で変更できます。  
 大きなタイムアウトを設定することにより、仮想マシン移動操作の時間を増やすことができます。  
 300: 既定値  
 300以外の値: 移動のタイムアウト(秒)を指定します。  
 <影響範囲>  
 上記のレジストリに既定値(300)以外の値が設定されていた場合、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、仮想マシン移動操作のタイムアウトが300(既定値)で実行され、予期しない動きとなります。
- キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\DPMPProvider (\*)  
 名前: DelimiterWwn  
 <説明>  
 ローカルスクリプト、またはアプリケーション/パッチのコマンドオプションにて使用する予約変数

PVM\_HBA\_WWN\_n\_m、\$:HBA\_WWN\_n\_mに設定されるHBAのアドレスでアドレスの区切り文字を削除するか、削除しないかを指定します。

0：区切り文字を削除します(既定値)。

1：区切り文字を削除しません。

<影響範囲>

上記レジストリに1が設定されていた場合、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、予約変数 PVM\_HBA\_WWN\_n\_m、\$:HBA\_WWN\_n\_mに設定されるHBAのアドレスは区切り文字が削除されます。

例)

アドレス: AAAA-BBBB-CCCC-DDDDの場合、値はAAAABBBBCCCCDDDDとなります。

- キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)

名前: EnableIPSetting

<説明>

ESXiのプロビジョニング時にvCenter ServerにIPアドレスで登録する場合に指定します。

0：FQDNで登録します。(既定値)

1：IPアドレスで登録します。

<影響範囲>

上記のレジストリに1が設定されていた場合、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、ESXiプロビジョニングでvCenter Server にFQDNで登録されます。

- キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)

名前: SysprepWaitCount

<説明>

仮想マシンの作成時に個性反映後に一定時間待ち合わせる場合に指定します。

レジストリ EnableWaitForSysprep が 0 以外の場合に有効になります。

既定では待ち合わせません。

固定IPアドレスの場合：指定値×20秒(レジストリ SysprepWaitFixedIPTimeout で変更可能)

DHCPの場合：指定値×60秒 (レジストリ SysprepWaitDHCPTIMEOUT で変更可能)

<影響範囲>

上記のレジストリを設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、個性反映後に待ち合わせを行わず個性反映が正常に行われない可能性があります。

- キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)

名前: CreateReplicaTimeout

<説明>

Differential Clone, Disk Clone のテンプレートから仮想マシンを作成するときのレプリカVMの作成処理のタイムアウト時間を指定します。

<影響範囲>

上記のレジストリに既定値(3600)以外の値を設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、レプリカVMの作成処理は1時間でタイムアウトが発生し、仮想マシンの作成処理がエラーになります。

- キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)

名前: BeforeForcePowerOffTimeout

<説明>

仮想マシンの再起動時に行うシャットダウンの待ち合わせ時間を指定します。

<影響範囲>

上記のレジストリに既定値(300)以外の値を設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くな

ることにより、仮想マシンのシャットダウンに時間を要する場合にタイムアウトが発生し、再起動操作がエラーになります。

- キー : HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)  
名前 : DisableVMServerTimeout  
<説明>  
フェイルオーバー時はESXiの接続状態が接続以外になる必要があります。  
ESXiを接続以外の状態になるまで待ち合わせ、接続状態以外にならなかった場合に切断するまでの時間を指定します。  
<影響範囲>  
上記のレジストリに既定値(600)以外の値を設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、ESXiが接続状態のままフェイルオーバーを行うため、フェイルオーバーが失敗する可能性があります。
- キー : HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)  
名前 : EnableCheckPowerStatus  
<説明>  
仮想マシンを起動状態でVM編集が可能かどうかを指定します。  
0 : 不可  
1 : 可能(既定値)  
<影響範囲>  
上記のレジストリに0を値を設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、仮想マシンの起動状態でVM編集をガードできません。
- キー : HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)  
名前 : EnableDefaultVmPortgroup  
<説明>  
ESXプロビジョニング時に既定のポートグループを作成するかどうかを指定します。  
0 : 作成しない。(既定値)  
1 : 作成する。  
<影響範囲>  
上記のレジストリに1を設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、ESXiプロビジョニング時に既定のポートグループが作成されません。
- キー : HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)  
名前 : IgnoreIpWaitTimeout  
<説明>  
仮想マシンの起動時にIPアドレスが割り当たらなかった場合にエラーにするかどうかを指定します。  
0 : エラーにする。  
1 : 警告にする。(既定値)  
<影響範囲>  
上記のレジストリに0を設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、仮想マシンの起動時にIPアドレスが割り当たらなかった場合にエラーになりません。
- キー : HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)  
名前 : IpSettingGuestWatchTimeout  
<説明>  
仮想マシンの起動時にIPアドレスが割り当たるまで待ち合わせる時間を指定します。

<影響範囲>

上記のレジストリに既定値(180)以外の値を設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、指定した時間中にIPアドレスが割り当たらなかった場合に警告またはエラーが発生します。

- キー : HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)

名前 : SysprepWaitDHCPTimeout

<説明>

仮想マシンの作成時に個性反映後に一定時間待ち合わせる場合に指定します。

レジストリ EnableWaitForSysprep が 0 以外の場合に有効になります。

仮想マシンがDHCP設定の場合に使用されます。

<影響範囲>

上記のレジストリに既定値(60)以外の値を設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、個性反映後に待ち合わせを行わず個性反映が正常に行われない可能性があります。

- キー : HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)

名前 : SysprepWaitFixedIPTimeout

<説明>

仮想マシンの作成時に個性反映後に一定時間待ち合わせる場合に指定します。

レジストリ EnableWaitForSysprep が 0 以外の場合に有効になります。

仮想マシンが固定IPアドレス設定の場合に使用されます。

<影響範囲>

上記のレジストリに既定値(20)以外の値を設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、個性反映後に待ち合わせを行わず個性反映が正常に行われない可能性があります。

- キー : HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)

名前 : VmPowerOffTimeout

<説明>

ESXiのシャットダウン時にESXi上にある仮想マシンの強制OFFのタイムアウト時間を指定します。

<影響範囲>

上記のレジストリに既定値(2)以外の値を設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、ESXiのシャットダウン時に仮想マシンが正常に電源OFFしない場合があります。

- キー : HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)

名前 : VmShutdownTimeout

<説明>

ESXiのシャットダウン時にESXi上にある仮想マシンのシャットダウンのタイムアウト時間を指定します。

<影響範囲>

上記のレジストリに既定値(10)以外の値を設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、ESXiのシャットダウン時に仮想マシンが正常に電源OFFしない場合があります。

- キー : HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)

名前 : WaitAfterReboot

<説明>

仮想マシンの再起動時に操作を完了する前に待ち合わせる時間を指定します。

<影響範囲>

上記のレジストリに既定値(0)以外の値を設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、仮想マシンの再起動でゲストOSの起動が完了していない可能性があります。

- キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)  
名前: WaitBeforePowerOnTask  
<説明>  
仮想マシンの再起動時に行う起動前の待ち合わせ時間を指定します。  
<影響範囲>  
上記のレジストリに既定値(10)以外の値を設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、仮想マシンの起動処理がエラーになる可能性があります。
- キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\PVM\Provider\VM\VMware (\*)  
名前: WaitForRetryPowerOn  
<説明>  
仮想マシンの起動がファイルロックエラーで失敗した場合に起動処理をリトライするまでの待ち合わせ時間を指定します。  
<影響範囲>  
上記のレジストリに既定値(1)以外の値を設定していた場合に、アップグレード後にレジストリが無くなることにより、待ち合わせ時間が短い場合にリトライの起動処理でもファイルロックエラーが発生する可能性があります。

(\*) 32bit OSの場合は"\Wow6432Node"の部分を除いてください。

## 【参考情報】

下記インストールガイドの「5. トラブルシューティング」の説明も参照してください。

- WebSAM SigmaSystemCenter 3.4 インストールガイド 第1版  
[http://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/download/3\\_4/InstallationGuide\\_34-1.pdf](http://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/download/3_4/InstallationGuide_34-1.pdf)